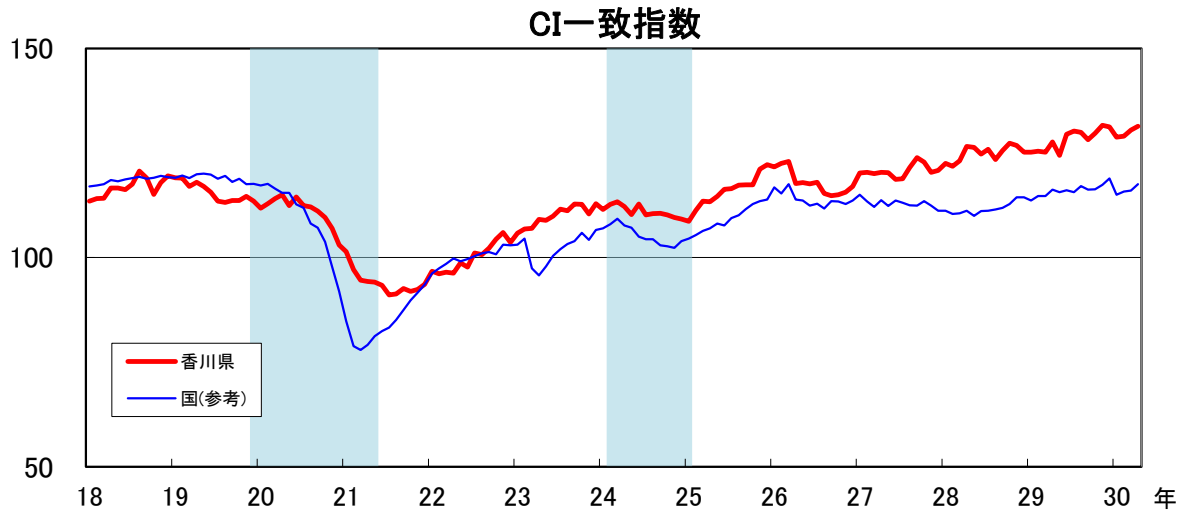


Kagawa Composite Index

香川県景気動向指数(かがわCI)

(平成30年4月分)

CI	先行指数	116.2	(前月差	+0.7)
CI	一致指数	131.4	(前月差	+0.9)
CI	遅行指数	153.4	(前月差	+0.8)



平成30年6月

香川県政策部統計調査課

【概要】

平成30年4月の動向

1 かがわCI(一致指数)

一致指数は、前月から0.90ポイント上昇し、3か月連続で上昇した。3か月後方移動平均は0.87ポイント上昇し、4か月ぶりに上昇した。7か月後方移動平均は0.46ポイント上昇し、2か月連続で上昇した。

● 今月のかがわCI(一致指数)

(平成22年=100)

	4月	3月	前月差(ポイント)
CI一致指数	131.4	130.5	+0.90
3か月後方移動平均	130.3	129.4	+0.87
7か月後方移動平均	130.3	129.9	+0.46

2 かがわCI(一致指数)の推移



3 かがわCI(一致指数)の前月差に対する個別系列の寄与度

	寄与度がプラスの系列		寄与度がマイナスの系列	
	寄与度	寄与度	寄与度	寄与度
一致系列	C5 鉱工業出荷指数	1.24	C2 有効求人倍率	-1.48
	C3 所定外労働時間指数	1.17	C6 建築着工床面積	-0.13
	C4 鉱工業生産指数	0.23	C7 百貨店・スーパー既存店販売額	-0.07
			C1 雇用保険受給者実人員	-0.01

第1表 景気動向指数（かがわCI）の動向

系 列 名		平成29年								平成30年			
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
先 行 系 列	先行指数	112.6	114.9	115.3	116.5	115.7	116.7	117.9	115.3	115.3	113.7	115.5	116.2
	前月差(ポイント)	▲1.5	2.3	0.4	1.2	▲0.8	1.0	1.2	▲2.6	0.0	▲1.6	1.8	0.7
	L1 新規求人数	▲2.0	0.8	0.3	1.0	▲3.7	▲0.0	1.3	▲3.3	2.7	3.0	7.7	▲20.3
	寄与度	▲0.32	0.08	0.02	0.12	▲0.56	▲0.04	0.16	▲0.51	0.38	0.43	1.10	▲1.52
	L2 乗用車新車登録台数	0.8	▲3.1	▲2.3	▲1.0	0.3	▲0.4	▲4.9	1.5	0.7	3.6	▲4.5	15.3
	寄与度	0.10	▲0.34	▲0.25	▲0.11	0.02	▲0.09	▲0.60	0.16	0.07	0.40	▲0.53	1.49
	L3 鉱工業在庫率指数(四国、逆)	7.8	▲21.6	▲0.7	▲13.5	14.4	▲4.7	▲4.4	12.3	▲10.6	6.9	13.9	▲12.2
	寄与度	▲0.83	1.51	0.12	1.50	▲1.47	0.58	0.53	▲1.42	1.26	▲0.78	▲1.42	1.48
	L4 生産財生産指数(四国)	▲2.2	1.4	4.9	▲3.3	0.5	3.1	▲1.7	▲1.3	▲3.1	0.7	1.5	▲1.2
	寄与度	▲0.62	0.42	1.47	▲1.00	0.16	0.94	▲0.54	▲0.41	▲0.93	0.22	0.45	▲0.37
L5 新設住宅着工戸数	7.2	3.2	▲2.3	▲2.0	▲1.9	▲2.1	2.2	▲2.1	▲9.2	▲14.7	13.5	▲2.3	
寄与度	0.74	0.30	▲0.33	▲0.30	▲0.27	▲0.27	0.22	▲0.26	▲1.06	▲1.46	1.51	▲0.23	
L6 金融機関貸出残高	▲2.0	0.2	▲1.1	0.8	0.9	▲0.5	1.3	▲0.1	▲0.3	▲0.7	0.5	0.1	
寄与度	▲1.49	0.15	▲0.91	0.63	0.70	▲0.46	1.01	▲0.14	▲0.30	▲0.62	0.37	0.05	
L7 消費者態度指数(中国四国)	4.2	▲0.9	▲0.2	0.2	2.0	0.4	0.4	▲2.0	1.4	▲0.4	0.4	▲2.3	
寄与度	0.73	▲0.19	▲0.07	0.02	0.36	0.05	0.04	▲0.42	0.24	▲0.09	0.08	▲0.43	
3か月後方移動平均	113.3	113.9	114.3	115.6	115.8	116.3	116.8	116.6	116.2	114.8	114.8	115.1	
前月差(ポイント)	▲0.47	0.60	0.40	1.30	0.27	0.47	0.47	▲0.13	▲0.47	▲1.40	0.07	0.30	
7か月後方移動平均	114.1	114.0	114.2	114.4	114.6	115.1	115.7	116.0	116.1	115.9	115.7	115.8	
前月差(ポイント)	▲0.24	▲0.14	0.16	0.20	0.24	0.51	0.54	0.39	0.06	▲0.23	▲0.14	0.07	
一 致 系 列	一致指数	124.4	129.5	130.2	129.9	128.2	129.7	131.6	131.2	128.8	129.0	130.5	131.4
	前月差(ポイント)	▲3.2	5.1	0.7	▲0.3	▲1.7	1.5	1.9	▲0.4	▲2.4	0.2	1.5	0.9
	C1 雇用保険受給者実人員(逆)	11.5	▲5.8	▲0.2	3.2	▲2.4	0.3	1.7	0.2	2.0	▲3.3	▲1.1	▲0.0
	寄与度	▲1.36	1.14	0.03	▲0.67	0.48	▲0.07	▲0.37	▲0.05	▲0.43	0.65	0.21	▲0.01
	C2 有効求人倍率	4.0	0.0	▲3.0	1.0	▲1.0	3.0	0.0	0.0	0.0	2.0	7.0	▲11.0
	寄与度	0.92	▲0.08	▲0.86	0.18	▲0.34	0.69	▲0.09	▲0.09	▲0.09	0.43	1.31	▲1.48
	C3 所定外労働時間指数	▲1.5	5.1	4.4	▲3.0	1.7	1.3	▲0.5	▲4.6	11.1	▲1.9	▲0.6	4.9
	寄与度	▲0.33	1.18	1.03	▲0.71	0.38	0.31	▲0.11	▲1.10	1.39	▲0.44	▲0.15	1.17
	C4 鉱工業生産指数	▲9.8	7.3	2.4	▲2.3	▲9.6	4.4	5.1	8.3	▲12.6	4.3	0.9	1.6
	寄与度	▲1.35	1.00	0.33	▲0.32	▲1.35	0.61	0.72	1.19	▲1.39	0.60	0.13	0.23
C5 鉱工業出荷指数(四国)	▲4.5	6.9	2.1	5.5	▲10.0	▲0.1	5.6	▲1.7	▲4.7	1.2	▲1.4	4.5	
寄与度	▲1.14	1.38	0.58	1.40	▲1.37	▲0.02	1.40	▲0.44	▲1.26	0.33	▲0.37	1.24	
C6 建築着工床面積	6.9	3.1	▲3.1	▲4.0	1.7	0.7	2.9	▲0.2	▲6.3	▲9.7	4.5	▲1.0	
寄与度	0.71	0.33	▲0.28	▲0.38	0.21	0.09	0.32	▲0.01	▲0.64	▲1.00	0.44	▲0.13	
C7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲2.7	0.5	▲0.4	1.1	1.2	▲0.7	0.3	0.2	0.3	▲1.5	▲0.6	▲0.3	
寄与度	▲0.63	0.12	▲0.10	0.26	0.29	▲0.17	0.07	0.05	0.07	▲0.36	▲0.14	▲0.07	
3か月後方移動平均	125.7	127.2	128.0	129.9	129.4	129.3	129.8	130.8	130.5	129.7	129.4	130.3	
前月差(ポイント)	▲0.33	1.43	0.87	1.83	▲0.43	▲0.17	0.57	1.00	▲0.30	▲0.87	▲0.23	0.87	
7か月後方移動平均	125.7	126.1	126.8	127.5	127.9	128.5	129.1	130.0	129.9	129.8	129.9	130.3	
前月差(ポイント)	▲0.41	0.39	0.71	0.67	0.40	0.64	0.57	0.97	▲0.10	▲0.17	0.09	0.46	
遅 行 系 列	遅行指数	144.0	146.2	147.7	145.9	146.9	145.5	146.0	144.2	147.0	150.5	152.6	153.4
	前月差(ポイント)	3.9	2.2	1.5	▲1.8	1.0	▲1.4	0.5	▲1.8	2.8	3.5	2.1	0.8
	Lg1 常用雇用指数	0.7	0.1	1.5	▲0.3	0.3	▲0.6	0.4	▲0.7	1.0	▲0.6	▲0.6	▲0.8
	寄与度	0.91	0.18	1.95	▲0.36	0.39	▲0.76	0.50	▲0.87	1.21	▲0.82	▲0.81	▲1.08
	Lg2 有効求職者数(逆)	▲1.7	0.9	▲0.2	0.3	▲0.2	▲1.1	▲0.3	▲0.0	▲0.5	▲1.4	0.1	0.1
	寄与度	1.13	▲1.36	▲0.29	▲0.83	▲0.30	0.59	▲0.27	▲0.50	▲0.00	0.82	▲0.65	▲0.64
	Lg3 消費者物価指数	0.5	▲0.2	0.0	0.3	▲0.2	▲0.6	0.7	0.0	0.3	0.5	▲0.1	0.0
	寄与度	1.44	▲0.62	▲0.02	0.85	▲0.62	▲1.79	2.05	▲0.01	0.85	1.41	▲0.40	▲0.09
	Lg4 家計消費支出	4.9	9.6	10.1	▲25.2	9.6	▲11.5	6.2	1.6	▲6.8	▲1.8	13.5	49.2
	寄与度	0.51	0.96	1.03	▲2.24	0.96	▲1.07	0.63	0.16	▲0.63	▲0.15	1.39	2.35
Lg5 鉱工業在庫率指数(四国)	1.4	▲0.5	2.6	▲0.4	▲0.9	0.1	▲1.9	▲4.0	4.5	0.9	5.0	0.9	
寄与度	0.79	▲0.26	1.46	▲0.23	▲0.49	0.08	▲1.02	▲2.19	2.27	0.50	2.28	0.43	
Lg6 法人事業税調定額	1.9	42.2	▲48.9	10.9	30.2	▲6.9	▲20.4	10.5	▲3.0	9.5	▲21.9	▲4.9	
寄与度	0.09	2.24	▲2.23	0.61	1.62	▲0.39	▲1.12	0.52	▲0.17	0.50	▲1.27	▲0.31	
Lg7 第3次産業活動指数(全国)	▲1.5	1.0	▲0.9	0.0	▲1.1	2.1	▲0.7	0.9	▲1.4	1.2	1.7	▲0.1	
寄与度	▲1.21	0.72	▲0.84	▲0.08	▲0.98	1.55	▲0.68	0.65	▲1.21	0.87	1.27	▲0.17	
3か月後方移動平均	141.0	143.4	146.0	146.6	146.8	146.1	146.1	145.2	145.7	147.2	150.0	152.2	
前月差(ポイント)	1.30	2.47	2.53	0.63	0.23	▲0.73	0.03	▲0.90	0.50	1.50	2.80	2.13	
7か月後方移動平均	140.7	141.3	142.5	143.3	144.2	145.2	146.0	146.1	146.2	146.6	147.5	148.5	
前月差(ポイント)	0.69	0.63	1.19	0.77	0.97	0.96	0.84	0.03	0.11	0.40	0.96	0.93	

【注】1 (逆)は「逆サイクル」の略です。(景気が良くなれば低下し、悪くなれば上昇すると考えられる指標を「逆サイクル」といいます。)

2 一部の計数は、速報値を用いており、確報の段階で修正するため、前回発表の値と相違することがあります。

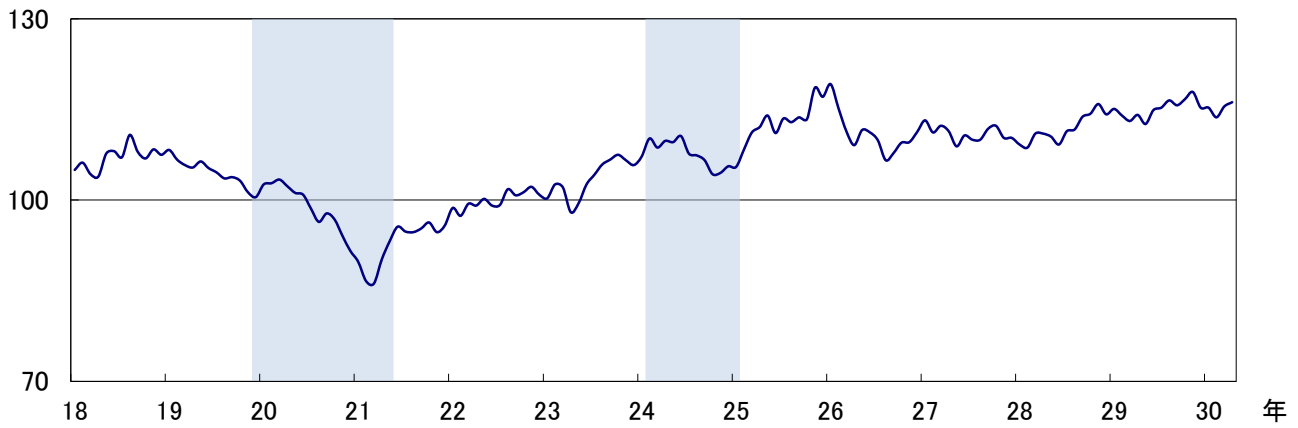
3 各系列の計数は、季節調整済(アメリカ商務省センサス局法)の数値を用いています。(前年同月比指標を除きます。)

4 CIの作成において、極端な外れ値の影響は除かれています。

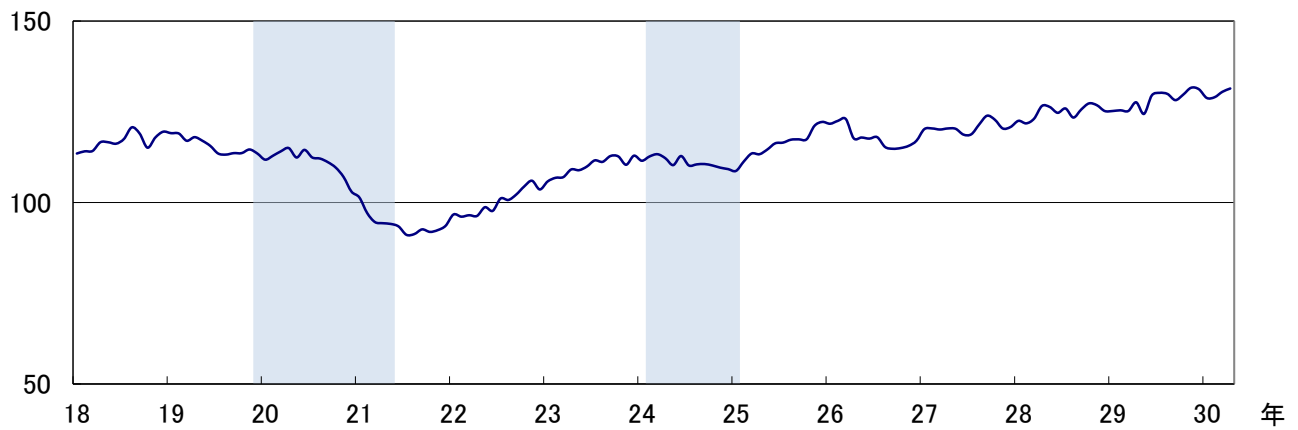
第1図 景気動向指数（かがわCI） グラフ

（平成22年＝100）

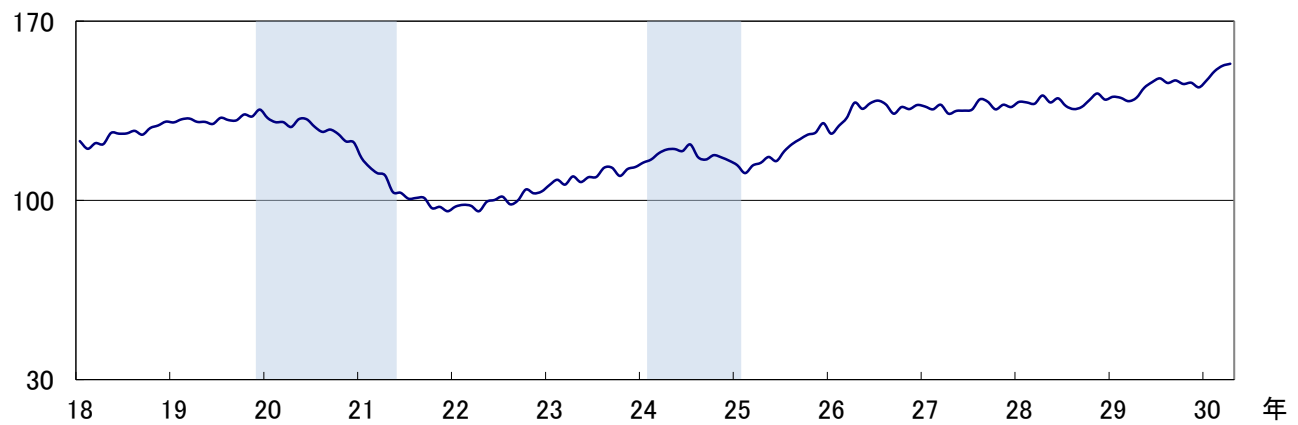
先行指数(Leading Index)



一致指数(Coincident Index)



遅行指数(Lagging Index)



【注】 グラフのシャドウ部分は景気後退期を示しています。
景気の山谷の日付については、最新月報5ページの「景気基準日付」を参照してください。

第2表 景気動向指数（D I）変化方向表

先行系列

系列名	年	29								30				
	月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
1 新規求人指数		+	+	-	+	-	-	-	-	+	+	+	-	1
2 乗用車新車登録台数		+	+	-	-	-	-	-	-	-	+	-	+	2
3 鉱工業在庫率指数(四国、逆)		-	+	+	+	-	+	-	-	+	-	-	-	P 3
4 生産財生産指数(四国)		-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	P 4
5 新設住宅着工戸数		+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
6 金融機関貸出残高		-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	6
7 消費者態度指数(中国四国)		+	+	+	-	+	+	+	-	-	-	+	-	7
拡張系列数		4.0	5.0	4.0	3.0	3.0	4.0	3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	
採用系列数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
先行指数(D. I.)		57.1	71.4	57.1	42.9	42.9	57.1	42.9	28.6	42.9	28.6	28.6	28.6	

一致系列

系列名	年	29								30				
	月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
1 雇用保険受給者実人員(逆)		-	+	-	+	-	-	+	-	-	+	+	+	1
2 有効求人倍率		+	+	+	-	-	+	+	+	0	+	+	-	2
3 所定外労働時間指数		-	+	+	+	+	0	+	-	+	+	+	+	3
4 鉱工業生産指数		-	+	-	+	-	-	-	+	+	0	-	+	P 4
5 鉱工業出荷指数(四国)		-	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-	+	P 5
6 建築着工床面積		+	+	+	-	-	-	+	+	-	-	-	-	6
7 百貨店・スーパー既存店販売額		+	-	-	+	+	+	+	-	+	-	-	-	P 7
拡張系列数		3.0	6.0	4.0	5.0	2.0	2.5	5.0	4.0	3.5	3.5	3.0	4.0	
採用系列数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
一致指数(D. I.)		42.9	85.7	57.1	71.4	28.6	35.7	71.4	57.1	50.0	50.0	42.9	57.1	

遅行系列

系列名	年	29								30				
	月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
1 常用雇用指数		+	+	+	+	+	-	+	-	+	-	-	-	1
2 有効求職者数(逆)		+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	2
3 消費者物価指数		+	+	+	+	+	-	-	+	+	+	+	+	3
4 家計消費支出		-	+	+	-	-	-	+	-	+	-	+	+	P 4
5 鉱工業在庫指数(四国)		+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	P 5
6 法人事業税調定額		-	+	-	+	-	+	+	-	-	+	-	-	6
7 第3次産業活動指数(全国)		-	+	-	+	-	+	+	+	-	+	+	+	7
拡張系列数		4.0	7.0	5.0	5.0	4.0	3.0	5.0	3.0	4.0	5.0	5.0	5.0	
採用系列数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
遅行指数(D. I.)		57.1	100.0	71.4	71.4	57.1	42.9	71.4	42.9	57.1	71.4	71.4	71.4	

【注】 (逆)は「逆サイクル」の略です。(景気が良くなれば低下し、悪くなれば上昇すると考えられる指標を「逆サイクル」といいます。)最新値に「P」がつく指標は「暫定値」を用いています。

個別系列の概要

系列名	内 容	季節調整方法	資料出所
先行系列	1 新規求人数	新規学卒除く・パートタイム含む	X-12-ARIMA 厚生労働省
	2 乗用車新車登録台数		X-12-ARIMA 四国運輸局
	3 鉱工業在庫率指数	四国《逆サイクル》	X-12-ARIMA 四国経済産業局
	4 生産財生産指数	四国	X-12-ARIMA 四国経済産業局
	5 新設住宅着工戸数	後方3か月平均	X-12-ARIMA 国土交通省
	6 金融機関貸出残高	銀行（第二地方銀行含む）	前年同月比 日本銀行高松支店
	7 消費者態度指数	中国四国	- 内閣府
一致系列	1 雇用保険受給者実人員	《逆サイクル》	X-12-ARIMA 香川労働局
	2 有効求人倍率	新規学卒除く	X-12-ARIMA 香川労働局
	3 所定外労働時間指数	調査産業計、5人以上	X-12-ARIMA 香川県統計調査課
	4 鉱工業生産指数		X-12-ARIMA 香川県統計調査課
	5 鉱工業出荷指数	四国	X-12-ARIMA 四国経済産業局
	6 建築着工床面積	居住用、後方3か月平均	X-12-ARIMA 国土交通省
	7 百貨店・スーパー 既存店販売額 (旧：大型小売店販売額)	高松市消費者物価指数（帰属家賃を除く総合）による実質の増減率	前年同月比 四国経済産業局
遅行系列	1 常用雇用指数	調査産業計、5人以上	前年同月比 香川県統計調査課
	2 有効求職者数	《逆サイクル》	X-12-ARIMA 厚生労働省
	3 消費者物価指数	高松市、総合	前年同月比 香川県統計調査課
	4 家計消費支出	高松市、2人以上の世帯のうち勤労者世帯 (高松市消費者物価指数（帰属家賃を除く総合）による実質の増減率)	X-12-ARIMA 総務省
	5 鉱工業在庫指数	四国	X-12-ARIMA 四国経済産業局
	6 法人事業税調定額	現年分調定額	X-12-ARIMA 香川県税務課
	7 第3次産業活動指数	全国、対事業所サービス業	X-12-ARIMA 経済産業省

【注】 X-12-ARIMAは、アメリカ商務省センサス局で開発された季節調整方法です。

景気基準日付

景気循環	香川県					全国				
	谷	山	谷	期間(月数)		谷	山	谷	期間(月数)	
				拡張	後退				拡張	後退
第6循環	—	昭和45年 9月	47年1月	—	16	昭和40年10月	45年 7月	46年12月	57	17
第7循環	47年1月	49年 1月	50年4月	24	15	46年12月	48年11月	50年 3月	23	16
第8循環	50年4月	51年11月	53年2月	19	15	50年 3月	52年 1月	52年10月	22	9
第9循環	53年2月	55年 2月	58年5月	24	39	52年10月	55年 2月	58年 2月	28	36
第10循環	58年5月	60年 8月	62年6月	27	22	58年 2月	60年 6月	61年11月	28	17
第11循環	62年6月	平成 3年 7月	6年3月	49	32	61年11月	平成 3年 2月	5年10月	51	32
第12循環	6年3月	9年 3月	11年3月	36	24	5年10月	9年 5月	11年 1月	43	20
第13循環	11年3月	12年10月	14年5月	19	19	11年 1月	12年11月	14年 1月	22	14
第14循環	14年5月	19年12月	21年6月	67	18	14年 1月	20年 2月	21年 3月	73	13
第15循環	21年6月	(24年2月)	(25年2月)	(32)	(12)	21年 3月	24年 3月	24年11月	36	8

【注】 () は暫定日付

<参考>

全国の景気動向指数（CI一致指数）（内閣府経済社会総合研究所 平成30年6月25日公表）

(1)4月の基調判断

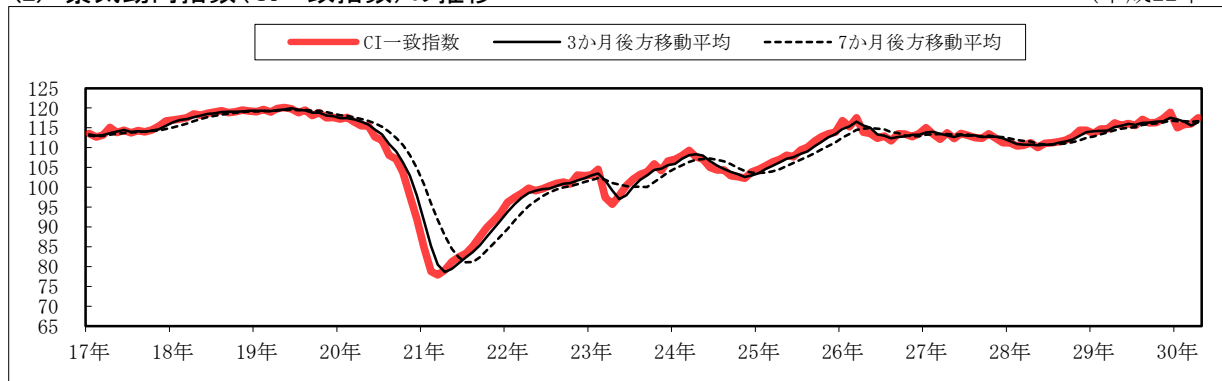
4月のCI(改定値・平成22=100)は、先行指数:106.2、一致指数:117.5、遅行指数:117.3となった。

一致指数は、前月と比較して1.5ポイント上昇し、3か月連続の上昇となった。3か月後方移動平均は0.83ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は0.19ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

景気動向指数(CI一致指数)は、改善を示している。

(2) 景気動向指数(CI一致指数)の推移

(平成22年=100)



(3) CI一致指数の前月差(前月比伸び率)と寄与度

		平成29年		平成30年			
		11月	12月	1月	2月	3月	4月
CI一致指数	前月差(ポイント)	117.4	118.9	115.0	115.8	116.0	117.5
	前月比伸び率(%)	1.1	1.5	-3.9	0.8	0.2	1.5
生産指数(鉱工業)	前月比伸び率(%)	0.7	1.8	-4.5	2.0	1.4	0.5
	寄与度	0.10	0.28	-0.71	0.30	0.20	0.08
鉱工業用生産財出荷指数	前月比伸び率(%)	1.5	1.2	-5.5	3.0	1.1	0.7
	寄与度	0.23	0.18	-0.87	0.33	0.17	0.11
耐久消費財出荷指数	前月比伸び率(%)	1.9	1.8	-10.0	11.4	-0.6	7.3
	寄与度	0.16	0.14	-0.82	0.44	-0.05	0.57
所定外労働時間指数(調査産業計)	前月比伸び率(%)	0.1	-0.4	-2.6	1.8	-0.6	0.1
	寄与度	0.01	-0.09	-0.53	0.35	-0.13	0.02
投資財出荷指数(除輸送機械)	前月比伸び率(%)	1.9	3.5	-4.7	-0.7	2.2	2.8
	寄与度	0.21	0.39	-0.52	-0.08	0.24	0.34
商業販売額(小売業) (前年同月比)	前月差	2.3	1.5	-2.1	0.2	-0.7	0.5
	寄与度	0.27	0.18	-0.24	0.02	-0.08	0.07
商業販売額(卸売業) (前年同月比)	前月差	0.6	1.3	0.1	-2.9	-1.3	3.7
	寄与度	0.05	0.11	-0.06	-0.23	-0.10	0.34
営業利益(全産業)	前月比伸び率(%)	0.8	0.8	-0.2	-0.2	-0.2	
	寄与度	0.10	0.10	-0.01	-0.01	-0.01	0.09
有効求人倍率(除学卒)	前月差	0.01	0.03	0.00	-0.01	0.01	0.00
	寄与度	-0.03	0.26	-0.18	-0.32	-0.03	-0.19
3か月後方移動平均		116.6	117.5	117.1	116.6	115.6	116.4
前月差(ポイント)		0.10	0.90	-0.43	-0.53	-0.97	0.83
7か月後方移動平均		116.3	116.8	116.6	116.7	116.5	116.7
前月差(ポイント)		0.17	0.47	-0.16	0.03	-0.16	0.19

かがわCI (DI) 利用の手引き

景気動向指数は、生産、雇用などの様々な経済活動における重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合することにより、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された総合的な景気指標である。

CI (Composite Index) は採用した指標の変化率を合成したもので、その指数が上昇していれば景気は拡張局面、低下していれば景気は後退局面にあるとみられ、景気変動の大きさやテンポ（量感）を測定するために用いる。DI (Diffusion Index) は採用した指標の変化方向を示したもので、3か月前に比べて改善している指標の比率で、50%ラインを目安に景気が良いか悪いかを判断しており、景気転換点や局面の判定に利用する。

CIとDIには、景気に対して数か月程度先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、半年から1年程度遅れて動く遅行指数の3つの指数がある。